

外郭団体に関する
特別委員会追加資料
(神戸医療産業都市推進機構)
令和3年11月1日

神戸医療産業都市推進機構 最近のトピックについて

令和3年11月1日

公益財団法人 神戸医療産業都市推進機構

1. 次世代医療開発センターの整備完了
2. 新規医療技術の研究開発の進捗について
3. CAR-T細胞療法市販製品の製造開始
4. スタートアップ・エコシステムの整備等
5. 新型コロナウイルスワクチンの職域接種実施

1. 次世代医療開発センターの整備完了

財団設立20周年と本庶理事長のノーベル賞受賞を契機としてクリエイティブラボ神戸の1,6階に新研究施設「次世代医療開発センター(HBI)」の整備を行った(2021年4月開設)



クリエイティブラボ神戸(CLIK)(2020年9月竣工)



新たな研究ラボと研究者が交流するラウンジ



○研究部の集約・新研究部設置

新たに「感染症制御研究部」を設置。国立感染症研究所のウイルス第2部部長の村松先生を新研究部長として迎える。

既存の3研究部も集約し、研究機能の強化、研究開発の加速を目指す。



○共用機器室・動物実験飼育施設

高度な研究機器を医療産業都市で活動する様々な方が利用できる共用機器室、国際基準に見合う動物飼育・実験を行う動物実験飼育施設を整備

2. 新規医療技術の研究開発の進捗について

○慢性期脳梗塞に対する新たな治療法

推進機構の研究部門による研究成果に基づき、中央市民病院にて治験を実施中
この治験について、推進機構の実用化促進部門である医療イノベーション推進センター(TRI)が支援

<医薬品等開発の流れ>



神戸医療産業
都市内で進行
する医療技術
の実用化



神戸市立医療センター中央市民病院

○関節リウマチ等の自己免疫疾患や癌の治療

推進機構と企業との共同研究において、治療薬候補の抗体を新たに作り出すことに成功し物質特許・用途特許を出願中
今後、治療薬候補品のヒトでの安全性と有効性を確認するため臨床試験に向けた準備を行う予定



治療薬候補の
抗体について
特許出願中

3. CAR-T細胞療法市販製品の製造開始

○ノバルティス社の「キムリア」をアジアで初めて製造開始

令和2年11月より、アジアで初めて「キムリア」を製造開始し、神戸市内を含む国内の医療機関へ供給している。

キムリアとは

- ・ 白血病とリンパ腫に対する治療薬
- ・ 1回の投与で治療完了
- ・ 国内の想定患者数は約250人/年
- ・ 米での臨床試験では奏効率8割



<治療の流れ(推進機構の役割)>



①患者さんの血液採取



製造拠点の1つの神戸アイセンター

②機構が受託してキムリアの製造



③医療機関で治療

4. スタートアップ・エコシステムの整備等

○ライフサイエンススタートアップの集積に向けて

既存支援が手薄な層へ重点的に「ヒト・モノ・カネ」の総合的な支援を行う。



メドテックグランプリKOBÉ2021(R3.10.9開催)



○人材エコシステム事業 スタートアップの人材確保にも貢献!

進出企業団体の最適な人材確保を目的に、「働く場」としての神戸医療産業都市の魅力を地域単位でアピールする事業
セミナーやイベントを開催し、求職者と企業の出会いの場を創出
(令和2年度仕事フェア出展企業8社のうち5社採用)



スタートアップクリエイティブラボ(CLİK 2 F)

5. 新型コロナウイルスワクチンの職域接種実施

○ 神戸医療産業都市及びポートアイランドの企業・団体に対する職域接種

ポートアイランド第2期企業自治会と神戸商工会議所とともに、神戸医療産業都市及びポートアイランドの企業を対象とした新型コロナウイルスワクチンの職域接種を実施

接種日程：1回目 9月1日、9月3日、9月7日

2回目 9月29日、10月1日、10月5日

接種人数：1回目 2,217人（128団体）

2回目 2,212人（128団体）

接種会場：神戸臨床研究情報センター

使用ワクチン：武田/モデルナ社製ワクチン



参加企業・団体からの声

「外国籍の人も多数働いているので、まとまって接種ができてよかった」

「ポートアイランドという一つのコミュニティを実感できた」